

## 第285回教育研究評議会議事要録

1. 日時 平成29年7月18日(火) 13:30~14:15
2. 場所 事務局棟 第2会議室
3. 出席者 中井学長、中田理事・副学長、三浦理事・副学長、小沢理事・副学長、  
若井理事・事務局長、真田副学長、千葉副学長  
朝賀人間発達文化学類長、谷評議員、中村評議員  
鈴木行政政策学類長、田村評議員、垣見評議員  
佐野経済経営学類長、伊藤評議員  
二見共生システム理工学類長、山口評議員、佐藤評議員  
初澤うつくしまふくしま未来支援センター長、難波環境放射能研究所  
長  
【オブザーバー】生源寺農学系教育研究組織設置準備室長、上井監事、  
橋本監事

4. 欠席者 なし

### 5. 議事

#### 【確認事項】

中井学長から、7月14日付けで佐野教授が経済経営学類長に就任した旨、報告があった。佐野教授後任の評議員については、8月2日の経済経営学類教員会議で決定することとなり、それまでの期間は欠員となるが、評議会の定足数として、学類長及び学類選出評議員1名の出席があれば差し支えないとの説明があった。

第284回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

#### 【審議事項】

##### (1) 教員人事について

中井学長から、「国立大学法人福島大学職員任免規程」第20条の規定に基づき、経済経営学類教員1名の休職について提案があり、休職の事由や期間等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

##### (2) 「福島大学教育改革ビジョン2019」について(継続審議)

各学類長から、第284回教育研究評議会(7月4日開催)において審議され、

各学類教員会議に意見集約していた標記について、各学類教員会議における戻り報告があった。

朝賀人間発達文化学類長から、「福島大学教育改革ビジョン2019」の要点部分について特に異論なく了承された旨、報告があり、各学類のカリキュラム改革と連動するため、全学的に確認しなければいけないものについては、早急に進めてほしいとの発言があった。

鈴木行政政策学類長から、学類独自の教育が制限されるなど一定の懸念は出されたが、詳細な課題等について検討していく必要があるとの意見が出されたため、全体的に議論を進めることを勸案し、了承されたとの報告があった。

佐野経済経営学類長から、要点部分について特に異論なく了承された旨、報告があり、要望事項として、英語以外の外国語教員削減数の再検討、基盤教育の各学類の責任分担の是正要望、全学教育責任分担制度の各学類の役割分担及び社会人教育・大学院教育等の検討について意見が出されたとの報告があった。

二見共生システム理工学類長から、要点部分について6月14日開催の教員会議において了承されている旨、報告があり、情報科目に関して負担の議論を先送りすることなく進めてほしいとの意見があったとの報告があった。このことを受け、三浦理事・副学長から、今後情報科目の教員を中心に、情報科目WGで早急に検討していくとの発言があった。

以上の戻り報告を受け、中井学長から、「福島大学教育改革ビジョン2019」の要点部分について、一部異論はあったが、全体としては了承されたと判断するとの発言があり、個々の議論については、今後分野別WGを立ち上げて具体化を図っていくとの説明があった。

質疑応答の中で、教職課程の再課程認定に関わる全学カリキュラム編成のスケジュールについて意見があり、三浦理事・副学長から、教員免許状に関する検討、基盤教育の開講授業数、担当者等について早急に対応しながら進めていくとの発言があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

## 【報告事項】

### (1) 平成29年度監事監査計画について

上井監事から、資料2に基づき、国立大学法人福島大学監事監査規則第7条に基づき、平成29年度監事監査計画について学長へ通知した内容について報告があった。

質疑応答の中で、学生の立場に立った大学づくりの観点及び自己収入増加の取組み内容について質問があり、上井監事から、学生との懇談を通して大学への意

見や要望等が大学と共有されているか確認していくこと、自己収入増加の取組みとして、寄附金獲得に向けた今後の体制整備に目を向けていくとの説明があった。  
各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(2) その他  
特になし